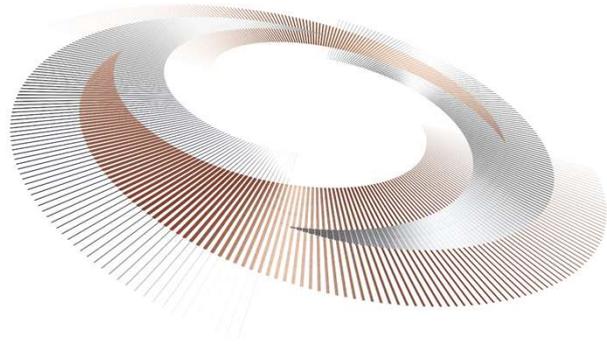


# 2026年3月期第3四半期決算補足説明資料

2026年2月12日



CEOの田中でございます。  
本日は、弊社決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。  
それでは、2026年3月期 第3四半期決算概要についてご説明申し上げます。  
まずは、決算補足説明資料の4ページ、エグゼクティブサマリをご覧くださいと存じます。



## 人と社会と地球のために、循環をデザインし、持続可能な社会を実現する

限りある資源を大切に使うために、使用済みの製品を資源として再生させる。

そこに新たな価値を付加し、再び社会に送り出す。

その循環のプラットフォームを構築し、自らプレイヤーとして価値を創出する。

そして未来に向けて、持続可能な社会の実現に力強く貢献し、循環の輪を広げていく。

# 目次

---

1.	エグゼクティブサマリ	P.4
2.	2026年3月期第3四半期累計実績	P.6
3.	連結財政状態	P.9
4.	2026年3月期通期予想・前提条件	P.10
5.	参考情報	P.11

### 景況感 今後の見通し

- **自動車関連**：米国・中国・東南アジアは前年同期比で増加、日本・欧州は概ね横ばい。通期は緩やかな回復が継続する見込み
- **半導体関連**：AI関連を除き低調。第4四半期も同傾向が継続する見込み
- **為替相場**：米国ドルは前年同期比円高（平均為替レート153→149円/\$）で推移
- **金属価格**：銅、金などの価格は前年同期比で上昇

### 第3四半期 累計実績

#### 前年同期比で減収減益、経常利益は増益

**売上高** 12,844億円 前年同期比 △1,992億円

- 貴金属スライムの入荷減少に伴う金の生産量減少により減収

**営業利益** 273億円 前年同期比 △49億円

- 銅価格上昇が収益を下支えする一方、買鉱条件（TC/RC）悪化、銅・貴金属地金の生産量減少、為替差（原材料の在庫評価影響）により減益

**経常利益** 611億円 前年同期比 +43億円

- Los Pelambres銅鉱山からの受取配当金の増加、Mantoverde銅鉱山の持分法利益の増加などにより増益

**当期純利益** 363億円 前年同期比 △127億円

- 前年計上のPT. Smelting持分法化に伴う持分変動利益の剥落、小名浜製錬の銅精鉱処理縮小決定に伴う構造改革費用の計上により減益

最初に景況感についてご説明いたします。

自動車関連市場は、米国・中国・東南アジアは前年同期比で増加、日本・欧州は概ね横ばいとなりました。通期では緩やかな回復が継続すると見込んでおります。

半導体関連市場は、AI関連のみ需要が好調であり、第4四半期も同傾向が継続すると見込んでおります。

為替相場は、米国ドルの平均レートが前年同期比で153円から149円の4円の円高で推移いたしました。

金属価格は、銅や金などの価格は前年同期比で上昇いたしました。

次に、第3四半期累計の実績でございます。

2026年3月期第3四半期累計実績では、貴金属スライムの入荷減少による金の生産量の減少、買鉱条件（TC/RC）の悪化、在庫評価影響などの逆風が重なり、売上高・営業利益は前年同期比で減収・減益となりました。

一方、Los Pelambres銅鉱山からの配当増加や、Mantoverde銅鉱山をはじめとする持分法会社の収益改善により、経常利益は前年同期比で増益となりました。

純利益は、前年計上のPT. Smelting持分法化に伴う持分変動利益の剥落、第2四半期の小名浜製錬の銅精鉱処理縮小決定に伴う構造改革費用の計上など一時的な要因により減益となりました。

## 通期業績 予想

### 前回11/11公表予想に対し売上高、営業利益・経常利益を上方修正する

- **売上高** : 銅、金などの価格の上昇により前回予想から増収
- **営業利益** : 為替・金属価格の前提条件見直し、タングステン製品の原料価格の上昇に  
**経常利益** 応じた販売価格適正化、超硬製品の増販等により、前回予想から増益
- **当期純利益** : 抜本的構造改革は計画どおり進捗。来期以降の収益性改善を見据えた  
関連費用を織り込み、業績予想は前回予想から変更なし

### 主な前提条件の見直し（第4四半期3か月）

- **ドル為替** : 145円/\$→152.5円/\$（通期：146円/\$→150円/\$）
- **銅価格** : 435¢/lb→550¢/lb（通期：436¢/lb→482¢/lb）

<b>売上高</b>	17,600億円	前回予想比+1,700億円	（前年実績比△2,020億円）
<b>営業利益</b>	470億円	前回予想比+320億円	（前年実績比+98億円）
<b>経常利益</b>	760億円	前回予想比+330億円	（前年実績比+157億円）
<b>当期純利益</b>	200億円	変更なし	（前年実績比△140億円）
<b>配当予想</b>	年間100円/株	変更なし	（中間配当は50円/株で配当実施）

## 公表類

### 11月公表の中期経営戦略（2026～2028年度）の推進に向け、取り組みを加速

- 二次原料集荷拡大のため米国のリサイクラーElemental USAへ出資\*1、\*2
- 米国での資源循環ビジネス展開を目的として米国三菱マテリアル社に資源循環事業部を新設\*3

\*1 2025年12月18日公表 プレスリリース「Elemental USA E-Waste & ITAD, Inc.の株式取得に関するお知らせ」

\*2 2026年1月30日公表 プレスリリース「Elemental USA E-Waste & ITAD, Inc.の株式取得手続き完了に関するお知らせ」

\*3 2026年1月13日公表 プレスリリース「米国における資源循環事業部の新設および事業展開について」

続いて、2026年3月期の通期業績及び配当予想でございます。

通期業績予想は、11/11公表の前回予想より売上高、営業利益・経常利益を上方修正いたします。売上高は、銅や金などの価格上昇に加え、加工事業での収益改善策の進捗を反映し、増収を見込んでおります。

営業利益、経常利益は、為替および金属価格の前提条件見直しに加え、加工事業における急激な原料価格上昇と需給ひっ迫の中で、価格転嫁と数量増を両立させた収益改善の進展、国内銅加工事業における需要回復の取り込みを反映した結果、増益を見込んでおります。

一方、当期純利益は前回予想を据え置きます。

これは、新年度から開始する「量」から「質」の経営へ転換を図るための構造改革を今期中に前倒しで実行するものです。

新中経における具体的内容や来期以降の収益改善、資本効率改善効果につきましては、5月開催予定の事業戦略説明会においてご説明いたします。

配当予想につきましても、一株あたり年間100円の予想に変更はございません。

主な前提条件として、ドル為替第4四半期を152.5円に見直しております。銅価格は、足許の銅価格状況を踏まえ550セントパーポンドとしております。

また、第3四半期のトピックスとして、11月公表の中期経営戦略（2026～2028年度）で重点テーマに掲げている、資源循環ビジネスのグローバル展開について、米国のリサイクラーElemental USAへの出資、ならびに米国三菱マテリアル社に資源循環事業部の新設を行い、北米での基盤づくりを本格的に進めております。これらの取り組みは、当社の長期的な成長に向けた重要な柱として位置付けています。

続いて次ページ以降の第3四半期累計実績の詳細は、CFOの平野よりご説明申し上げます。

## 2026年3月期第3四半期累計実績（連結損益計算書）

- ・売上高・営業利益は、金の生産量減少、買鉱条件（TC/RC）の悪化により減収減益
- ・経常利益は、Los Pelambres銅鉱山の配当、Mantoverde銅鉱山の持分法利益が寄与し増益
- ・当期純利益は、前年計上した持分変動利益の剥落、構造改革費用の計上により減益

（単位：億円）

	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	増減	%
売上高	14,836	12,844	△1,992	△13.4%
営業利益	322	273	△49	△15.2%
受取配当金	177	227	+49	+27.8%
持分法損益	139	163	+23	+17.0%
経常利益	568	611	+43	+7.6%
特別損益	73	△65	△139	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	491	363	△127	△26.0%
ドル為替 (円/\$)	153	149	△4	△2.5%
ユーロ為替 (円/€)	165	172	+7	+4.3%
銅価格 (¢/lb)	425	460	+34	+8.1%
金価格 (\$/oz)	2,492	3,626	+1,134	+45.5%
パラジウム価格 (\$/oz)	984	1,210	+226	+22.9%

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

6

平野でございます。よろしくお願い致します。

早速ですが、2026年3月期第3四半期累計実績についてご説明申し上げます。

まず、冒頭の田中からの説明のとおり、当第3四半期累計は、貴金属スライムの入荷減少による、金の生産量減少や、銅鉱石の買鉱条件（TC/RC）の悪化などを主因として、前年同期比で売上高・営業利益は減収、減益となりましたが、鉱山配当や持分法利益の増益が寄与し経常利益は増益となりました。当期純利益につきましては、前年計上のPT. Smelting持分法化による持分変動利益の剥落と構造改革費用の計上により減益となっております。

この増減の背景につきましては、次ページの滝グラフで詳細をご説明いたしますので、資料7ページをご覧ください。

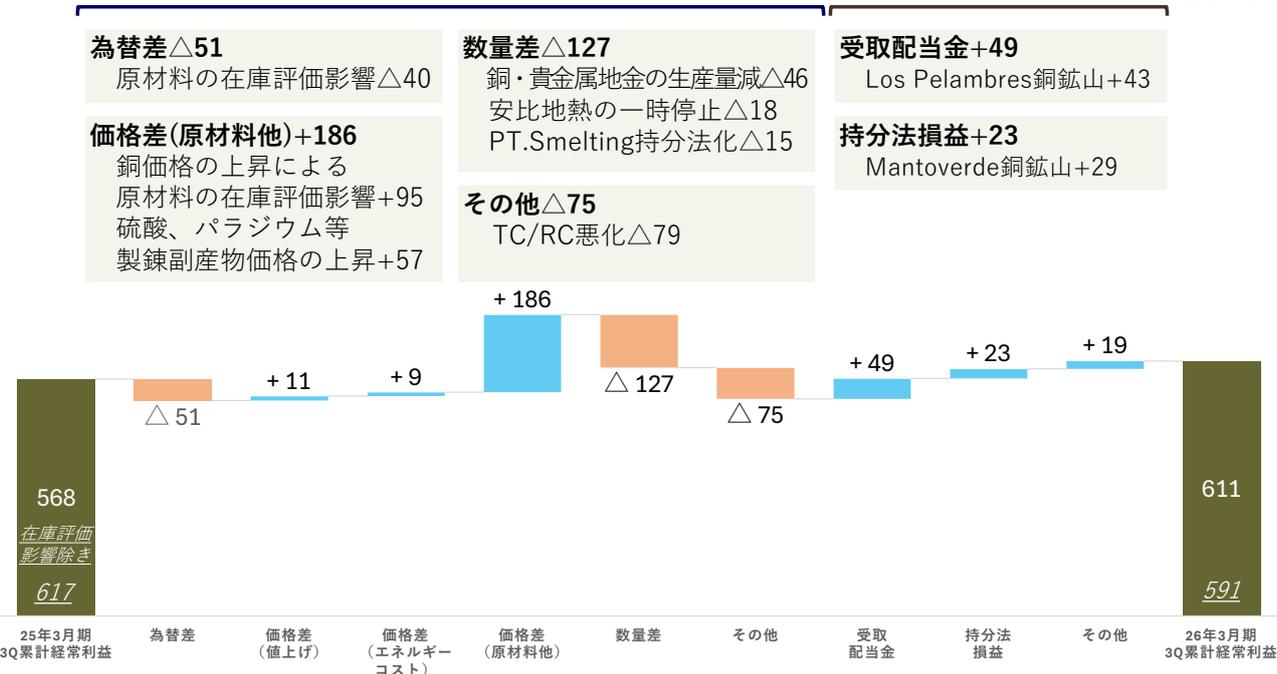
## 2026年3月期第3四半期累計実績（利益増減要因内訳）

- ・ 営業利益は、銅価格、製錬副産物価格の上昇が収益を下支えする中、買鉱条件（TC/RC）の悪化、銅・貴金属地金の生産量減少などにより減益
- ・ 経常利益は、Los Pelambres銅鉱山からの受取配当金増加などにより増益

営業損益△49億円

営業外損益+92億円

（単位：億円）



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

7

こちらは、当第3四半期累計の経常利益を前年同期との比較で増減要因を整理したものです。

営業利益は前年同期比49億円減益の273億円となりました。

まず、増益要因としては、「原材料他の価格差」が最も大きく、前年同期比でプラス186億円となりました。主な要因は銅加工事業において銅価の上昇による原材料の在庫評価影響（前年実額32億円の損失計上、当年実額62億円の利益計上）による増益95億円に加え、金属事業での硫酸・パラジウム等の製錬副産物価格の上昇による増益57億円です。

一方で、減益要因としては、最も大きかったのが、「数量差」で、金属事業における銅・貴金属地金の生産量減少や、PT. Smelting社の昨年6月末での持分法適用会社への移行、再生可能エネルギー事業における安比地熱発電所の一時停止等により、前年同期比127億円の減益要因となりました。また、営業損益の「その他」のマイナス75億円には、買鉱条件（TC/RC）の悪化影響として79億円の減益が含まれています。「為替差」のマイナス51億円には、前期に比べ為替が円高となったことに伴う原材料の在庫評価影響が40億円含まれております。

経常利益は、前年同期比で43億円増益の611億円となりました。営業外損益項目だけを取り出した場合には、前年同期比で92億円の増益となります。これは、Los Pelambres銅鉱山からの受取配当金の増加、Mantoverde銅鉱山などの持分法適用会社の収益改善が主な増益要因となっております。

なお、在庫評価影響を除く経常利益は、前年同期比26億円の減益で591億円となりました。

続きまして、8ページをご覧ください。

## 2026年3月期第3四半期累計実績（セグメント別利益概況）

- ・ 金属事業は、買鉱条件（TC/RC）悪化、銅・貴金属地金の生産量減少などにより減益
- ・ 銅加工事業は、銅価格の上昇による原材料の在庫評価影響などにより増益（25年3月期第3四半期累計：425¢/lb⇒26年3月期第3四半期累計：460¢/lb）

（単位：億円）

		25年3月期 3Q累計 実績	26年3月期 3Q累計 実績	増減	要因						
					為替差	価格差	数量差	受取 配当金	持分法 損益	その他	
金属	営業利益	223	51	△171						△105	
	経常利益	418	346	△71	△44	+72	△94	+49	+40	△95	
高機能	銅加工	営業利益	4	87	+83						△27
		経常利益	△24	60	+84	△1	+115	△2	△0	-	△25
	電子材料	営業利益	24	16	△8						+5
		経常利益	36	39	+2	△1	△4	△7	+0	+9	+6
加工	営業利益	68	105	+36						+5	
	経常利益	67	90	+23	△4	+23	+11	+0	+1	△9	
再生可能 エネルギー	営業利益	19	6	△13						+0	
	経常利益	22	△4	△27	-	△0	△13	-	△5	△7	
その他	営業利益	39	26	△13						+8	
	経常利益	148	128	△19	△0	-	△21	+0	△22	+24	
合計 <small>連結調整額等を含む</small>	営業利益	322	273	△49						△75	
	経常利益	568	611	+43	△51	+206	△127	+49	+23	△56	

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

8

こちらは、当第3四半期累計実績をセグメント別に前年同期実績と対比したものです。

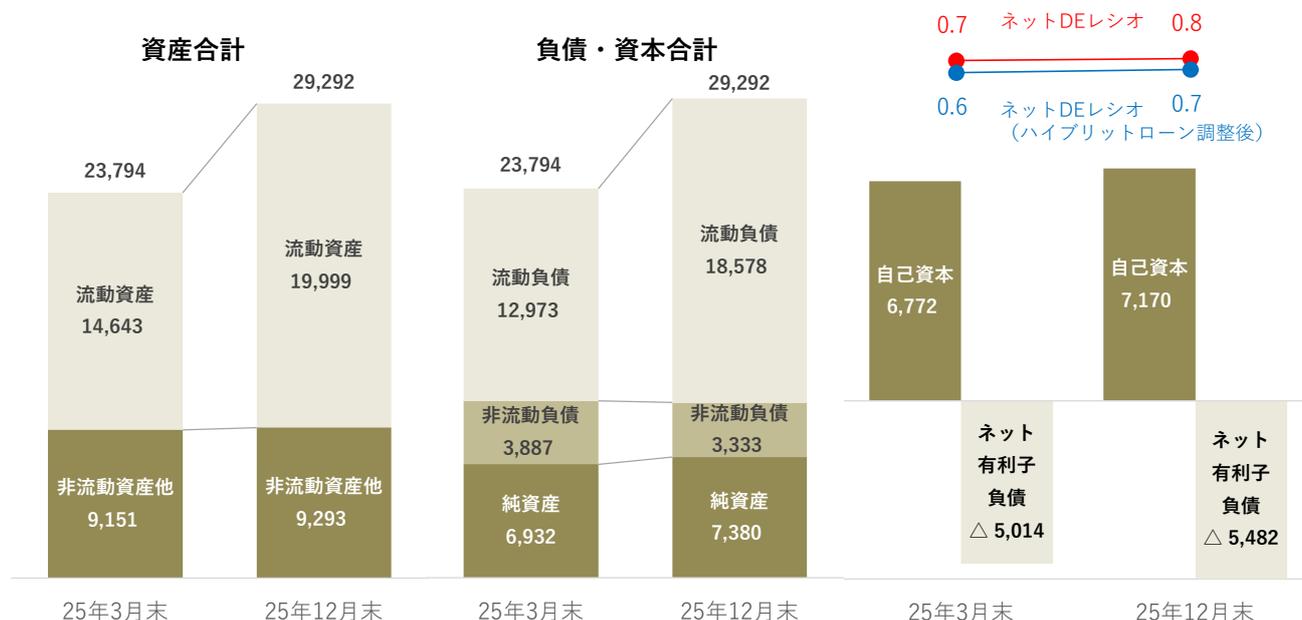
- ・ 金属事業では、「その他」の部分に買鉱条件（TC/RC）の悪化、「数量差」として銅・貴金属地金の生産減等があったことで営業利益が減少いたしました。
- ・ 銅加工事業では、「価格差」に表れておりますが、銅価格が前年同期比で上昇したことによる在庫評価影響等を主因として営業利益が増加いたしました。

続きまして、9ページをご覧ください。

## 連結財政状態

- 金属価格の上昇により、貸付金地金、棚卸資産が増加し総資産が拡大。棚卸資産の増加により、運転資本が増加し、ネット有利子負債が増加

(単位：億円)



Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

9

連結財政状態です。2025年12月末時点の連結バランスシートは、金および銅価格の上昇に伴い、貸付金地金及び棚卸資産が増加したことで、2025年3月末比で総資産が5,498億円増加し、2兆9,292億円となりました。

また、ネットDEレシオは、2025年12月末時点で2025年3月末より0.1上昇の0.8倍となりました。これは、金属価格上昇による一時的な運転資本増加が要因であり、価格上昇局面特有の構造的なタイムラグによるものであり、収益力そのものが棄損しているわけではありません。

現在、最終合意に向けて検討を進めているパンパシフィック銅への参画による運転資本の急激な増減リスクのオフバランス化の他、中経に掲げているROIC改善による営業CFの増加、在庫日数短縮による運転資本の圧縮、投資規律の徹底などの取り組みを通じて改善を図ることができると考えております。

## 2026年3月期通期予想・前提条件

- ・ **売上高** : 銅、金などの価格の上昇により前回予想から増収
- ・ **営業利益** : 為替・金属価格の前提条件の見直し、タングステン製品の原料価格上昇に応じた販売価格の適正化、超硬製品の増販等により、前回予想から増益
- ・ **経常利益** : 抜本的構造改革は計画どおり進捗。来期以降の収益性改善を見据えた関連費用を織り込み、業績予想は前回予想から変更なし

(単位: 億円)

	25年 3月期 実績(a)	26年3月期			増減 (c)-(a)	為替・金属価格	25年 3月期 実績(a)	26年3月期			増減 (c)-(a)
		前回 (11/11) 予想(b)	今回 (2/12) 予想(c)	増減 (c)-(b)				前回 (11/11) 予想(b)	今回 (2/12) 予想(c)	増減 (c)-(b)	
売上高	19,620	15,900	17,600	+1,700	△2,020	ドル 為替 (円/\$)	153	146	150	+4	△3
営業利益	371	150	470	+320	+98	ユーロ 為替 (円/€)	164	169	174	+5	+10
経常利益	602	430	760	+330	+157	銅価格 (¢/lb)	425	436	482	+46	+57
親会社株主に帰属 する当期純利益	340	200	200	-	△140	金価格 (\$/oz)	2,585	3,284	3,720	+436	+1,135
						パラジウム 価格 (\$/oz)	979	1,053	1,183	+130	+205
						<b>感応度*</b>			<b>4Q 影響額</b>		
ROIC (%)	4.2	3.5	5.1	1.6	+0.9	ドル為替	営業利益±1円/\$		1.4		
ROE (%)	5.1	3.0	3.0	-	△2.1	ユーロ為替	営業利益±1円/€		0.4		
						銅価格	(a)営業利益±10¢/lb		0.7		
							(b)営業外損益±10¢/lb		0.1		
							(a+b)経常利益±10¢/lb		0.8		

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved.

\*感応度に在庫評価影響は含んでおりません。

10

続く10ページには、今回2026年3月期の通期業績予想を見直しておりますので、予想数値と前提条件をお示ししています。

連結全体の予想数値・修正内容・修正理由につきましては、冒頭の田中の説明との重複を避けるため割愛しますが、セグメント別では、「金属事業」、「銅加工事業」、「電子材料事業」、「加工事業」の主要4事業全てが増益を見込んでおります。特に「加工事業」においては、タングステン製品の原料価格上昇を価格転嫁する取り組みや超硬製品の増販など収益改善策の効果により増益となっている点はポイントと考えております。

セグメント別、要因別予想修正額につきましては、12ページから16ページにまとめておりますので、詳細はそちらをご参照ください。

**私からのご説明は以上でございます。**

## 参考情報

---

## セグメント概況（金属事業）

- **第3四半期累計実績**：買鉱条件（TC/RC）の悪化などにより、営業利益は減少。受取配当金、持分法利益は増加したものの、経常利益は346億円（前年同期比△71億円）
- **通期予想**：為替・金属価格の前提条件の見直しなどにより、経常利益は462億円（前回予想比+190億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	増減	前回 通期予想	今回 通期予想	増減
売上高	10,950	8,548	△2,402	10,075	11,701	+1,625
営業利益 <small>在庫評価影響除き</small>	223 <small>226</small>	51 <small>94</small>	△171	12	169	+156
経常利益 <small>在庫評価影響除き</small>	418 <small>433</small>	346 <small>389</small>	△71	271	462	+190
<b>25年3月期3Q累計経常利益実績</b>			<b>418</b>	<b>26年3月期通期経常利益前回予想</b>		<b>271</b>
為替差			△44	為替差		+87
価格差			+72	価格差		+87
数量差			△94	数量差		△11
受取配当金			+49	受取配当金		+11
持分法損益			+40	持分法損益		+6
その他			△95	その他		+9
<b>26年3月期3Q累計経常利益実績</b>			<b>346</b>	<b>26年3月期通期経常利益今回予想</b>		<b>462</b>

## セグメント概況（銅加工事業）

- **第3四半期累計実績**：銅価格の上昇などにより、経常利益は60億円（前年同期比+84億円）
- **通期予想**：銅価格の前提条件見直し（前回通期予想：436¢/lb⇒今回通期予想：482¢/lb）などにより、経常利益は111億円（前回予想比+77億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	増減	前回 通期予想	今回 通期予想	増減
売上高	3,279	3,572	+293	4,708	5,088	+379
営業利益 <small>在庫評価影響除き</small>	4 <small>37</small>	87 <small>25</small>	+83	71	148	+77
経常利益 <small>在庫評価影響除き</small>	△24 <small>8</small>	60 <small>△2</small>	+84	34	111	+77
<b>25年3月期3Q累計経常利益実績</b>			<b>△24</b>	<b>26年3月期通期経常利益前回予想</b>		<b>34</b>
為替差			△1	為替差		+1
価格差			+115	価格差		+91
数量差			△2	数量差		△2
受取配当金			△0	受取配当金		-
持分法損益			-	持分法損益		-
その他			△25	その他		△14
<b>26年3月3Q累計期経常利益実績</b>			<b>60</b>	<b>26年3月期通期経常利益今回予想</b>		<b>111</b>

## セグメント概況（電子材料事業）

- **第3四半期累計実績**：シール製品の販売数量減少などにより、営業利益は減少したが、持分法利益の増加などにより、経常利益は39億円（前年同期比+2億円）
- **通期予想**：持分法利益の増加などにより、経常利益は36億円（前回予想比+10億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	増減	前回 通期予想	今回 通期予想	増減
売上高	584	624	+40	808	821	+12
営業利益	24	16	△8	10	13	+2
経常利益	36	39	+2	26	36	+10

25年3月期3Q累計経常利益実績		36	26年3月期通期経常利益前回予想		26
為替差		△1	為替差		+2
価格差		△4	価格差		+0
数量差		△7	数量差		+2
受取配当金		+0	受取配当金		△0
持分法損益		+9	持分法損益		+6
その他		+6	その他		△1
26年3月期3Q累計経常利益実績		39	26年3月期通期経常利益今回予想		36

## セグメント概況（加工事業）

- 第3四半期累計実績**： H.C.Starck社の連結子会社化に伴い売上高増加、超硬製品・タングステン製品の原料価格の上昇に応じた販売価格の適正化などにより、経常利益は90億円（前年同期比+23億円）
- 通期予想**： タングステン製品の原料価格の上昇に応じた販売価格の適正化、超硬製品の増販などにより、経常利益は129億円（前回予想比+41億円）

（単位：億円）

項目	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	増減	前回 通期予想	今回 通期予想	増減
売上高	1,109	1,656	+547	2,210	2,315	+105
営業利益	68	105	+36	105	142	+37
経常利益	67	90	+23	88	129	+41

25年3月期3Q累計経常利益実績	67
為替差	△4
価格差	+23
数量差	+11
受取配当金	+0
持分法損益	+1
その他	△9
<b>26年3月期3Q累計経常利益実績</b>	<b>90</b>

26年3月期通期経常利益前回予想	88
為替差	+9
価格差	+7
数量差	+21
受取配当金	△0
持分法損益	+5
その他	△3
<b>26年3月期通期経常利益今回予想</b>	<b>129</b>

## セグメント別増減内訳（通期予想前年実績対比）

- ・買鉱条件（TC/RC）悪化、UBE三菱セメント社の持分法利益の減少などによる減益要素があるが、銅価格の上昇、超硬製品・タングステン製品の販売価格適正化、増販などにより、営業利益・経常利益共に前年実績比で増加を見込む

（単位：億円）

		25年3月期 実績	26年3月期 今回予想	増減	営業利益・経常利益 変動要素	
金属	営業利益	231	169	△61	(△) 買鉱条件（TC/RC）悪化	
	経常利益	411	462	+50	(+) 受取配当金増加	
高機能	銅加工	営業利益	30	148	+118	(+) 銅価格の上昇
		経常利益	△10	111	+122	
	電子材料	営業利益	32	13	△19	
		経常利益	49	36	△12	
加工	営業利益	88	142	+53	(+) 超硬製品・タングステン製品の販売価格適正化、増販	
	経常利益	85	129	+44		
再生可能 エネルギー	営業利益	23	9	△14	(△) 安比地熱一時停止	
	経常利益	26	4	△21		
その他	営業利益	54	32	△22		
	経常利益	185	126	△59	(△) UBE三菱セメント社の持分法利益減少	
合計 連結調整額等を含む	営業利益	371	470	+98		
	経常利益	602	760	+157		

# UBE三菱セメント社概況

## ■UBE三菱セメント社連結損益計算書

(単位：億円)

## ■UBE三菱セメント社諸元

項目		25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	26年3月期 通期予想 <sup>*1</sup>	項目	25年3月期 3Q累計実績	26年3月期 3Q累計実績	26年3月期 通期予想 <sup>*1</sup>
売上高	国内事業	2,872	2,779	3,750 (3,710)	セメント (国内)総需要 万t	2,515	2,339	3,100 (3,100)
	海外事業	1,440	1,262	1,650 (1,690)	セメント (国内)販売数量 万t	596	569	742 (748)
	計	4,312	4,042	5,400 (5,400)	セメント (米国)販売数量 万st	124	113	152 (158)
営業利益	国内事業	150	198	260 (240)	生コン (米国)販売数量 万cy	490	431	556 (583)
	海外事業	280	206	250 (270)	一般炭価格 (参考指標) <sup>*2</sup> \$/t	138	106	108 (112)
	計	431	405	510 (510)	ドル為替 円/\$	153	149	149 (148)
経常利益		450	424	510 (510)				
親会社株主に帰属する純利益		248	201	220 (260)				
<b>■当社持分法投資損益</b>								
持分法投資損益		115	92	88				

<sup>\*1</sup> ()内は2025年11月7日に発表した予想

<sup>\*2</sup> 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考) 25年12月末 連結貸借対照表

(単位：億円)

総資産	8,347	有利子負債	1,880	自己資本	3,720
自己資本比率	44.6	ネットD/Eレシオ	0.27		

- 国内事業：第1四半期での電力事業における定修影響等の減益はあるものの、セメント値上げや熱エネコスト低下の効果により、第3四半期累計は前年同期比で減収増益となった。第4四半期も、引き続きセメント事業が利益面で堅調に推移する見込みであり、通期は前年同期比で減収増益を見込む。
- 海外事業：米国事業は、金利高止まり等を背景とした需要低迷が続いたことにより、第3四半期は前年同期比で減収減益となった。豪州石炭事業は、販売価格下落の影響により、第3四半期累計は前年同期比で減収減益となった。第4四半期も、引き続き同様の事業環境が続く見通しであり、海外事業全体では通期は前年実績比で減収減益を見込む。
- 九州工場苅田第二地区リサイクル拠点化に伴う減損損失△46億円を第3四半期に特別損失として計上。

# 四半期業績の推移 セグメント別

(単位：億円)

項目	25年3月期							26年3月期							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 予想	下期 予想	通期 予想	
金属	売上高	3,900	3,424	7,324	3,625	3,385	7,011	14,336	2,887	2,591	5,479	3,068	3,152	6,221	11,701
	営業利益	88	136	224	△1	8	7	231	△68	79	11	39	118	158	169
	経常利益	121	58	180	237	△6	231	411	△54	107	53	293	115	408	462
高機能製品*	売上高	1,323	1,288	2,612	1,243	1,248	2,491	5,103	1,301	1,317	2,619	1,524	1,701	3,225	5,845
	営業利益	23	△33	△10	35	31	66	56	1	22	24	74	56	131	155
	経常利益	20	△43	△23	31	23	54	31	△1	18	16	77	46	124	141
銅加工	売上高	1,130	1,098	2,229	1,049	1,057	2,107	4,336	1,103	1,133	2,236	1,335	1,515	2,851	5,088
	営業利益	17	△32	△14	19	25	45	30	△2	22	20	67	60	128	148
	経常利益	8	△42	△34	10	13	23	△10	△9	11	2	58	50	109	111
電子材料	売上高	198	189	388	196	194	390	779	216	201	418	206	196	402	821
	営業利益	7	1	9	15	8	23	32	5	1	7	9	△3	5	13
	経常利益	14	1	16	20	12	33	49	9	8	17	21	△2	18	36
加工	売上高	381	364	746	363	378	741	1,488	529	540	1,070	586	658	1,245	2,315
	営業利益	29	38	68	0	20	20	88	30	25	56	48	37	85	142
	経常利益	34	28	63	3	18	21	85	23	20	43	47	38	86	129
再生可能 エネルギー	売上高	23	21	45	18	19	38	83	13	8	22	20	20	40	62
	営業利益	9	7	16	3	3	6	23	3	△2	1	5	2	7	9
	経常利益	12	5	18	4	3	7	26	1	△9	△8	3	9	12	4
その他	売上高	350	376	727	406	443	849	1,576	344	345	690	323	367	690	1,381
	営業利益	6	15	21	17	15	32	54	5	15	20	5	5	11	32
	経常利益	40	49	89	58	37	95	185	38	45	83	45	△2	42	126
調整額	売上高	△842	△717	△1,559	△716	△691	△1,407	△2,967	△764	△818	△1,582	△977	△1,145	△2,123	△3,706
	営業利益	△28	△16	△45	△8	△30	△38	△83	0	△5	△4	△9	△24	△34	△39
	経常利益	△43	△35	△79	△16	△41	△58	△137	△8	△13	△22	△22	△59	△81	△103
合計	売上高	5,137	4,758	9,895	4,941	4,783	9,724	19,620	4,314	3,985	8,299	4,545	4,755	9,300	17,600
	営業利益	128	147	275	47	48	95	371	△26	135	109	164	196	360	470
	経常利益	186	62	249	319	33	353	602	△1	168	167	444	148	592	760

Copyright ©MITSUBISHI MATERIALS Corporation. All rights reserved. \*高機能製品合計額には、高機能製品共通として銅加工事業、電子材料事業間取引などを含めて記載

# 諸元

## 主要製品の生産・販売動向

項目	25年3月期							26年3月期							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 予想	下期 予想	通期 予想	
電気銅	生産量 千 t	112	102	214	98	85	183	398	81	101	181	86	88	175	356
	販売量 千 t	102	93	195	88	79	167	362	77	89	166	83	89	172	337
金	生産量 t	9	9	19	10	10	19	38	4	4	8	4	5	8	16
	販売量 t	9	9	19	10	10	19	38	4	4	8	4	5	8	16
銀	生産量 t	81	75	156	69	75	144	301	49	53	102	58	58	116	219
	販売量 t	82	74	156	69	76	145	302	47	55	102	55	61	116	218
伸銅品	販売量 千 t	29	29	58	31	29	60	117	31	31	62	34	32	65	127

## 鉱山配当額の推移

項目	25年3月期							26年3月期							
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 予想	下期 予想	通期 予想	
Los Pelambres	配当額 億円	-	-	-	137	22	160	160	-	-	-	181	△1	180	180
Escondida	配当額 億円	8	-	8	27	-	27	36	22	-	22	19	3	23	45
鉱山配当計	配当額 億円	8	-	8	164	22	187	196	22	-	22	200	2	203	226

## 金属価格・為替の推移

項目	25年3月期							26年3月期						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 予想	下期 予想	通期 予想
ドル為替レート	円/\$	156	149	153	152	153	153	145	147	146	154	153	153	150
ユーロ為替レート	円/€	168	164	166	163	161	162	163	164	172	168	179	180	174
銅価格(LME)	¢/lb	442	417	430	416	424	420	425	432	444	438	503	550	482
金価格	\$/oz	2,338	2,476	2,407	2,662	2,862	2,762	2,585	3,280	3,454	3,367	4,145	4,000	3,720
パラジウム価格	\$/oz	972	970	971	1,011	961	986	979	990	1,171	1,081	1,469	1,100	1,183

# 持分法投資損益内訳

(単位：億円)

会社名	当社持分	25年3月期							26年3月期						
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	4Q 予想	下期 予想	通期 予想
Copper Mountain Mine(BC)Ltd.*	25%	0	△6	△6	0	△3	△2	△8	△3	4	0	-	-	-	0
Mantoverde S.A.	30%	△2	△4	△6	6	3	10	3	3	3	7	21	14	36	43
PT.Smelting	34%	△0	5	4	2	3	6	11	3	2	6	2	3	6	12
関西リサイクルシステムズ	41.4%	1	1	3	1	1	2	5	1	1	3	2	1	3	6
フジクラダイヤケーブル	22%	3	0	4	3	3	7	11	3	4	8	8	2	11	19
湯沢地熱	30%	3	△0	3	2	1	4	7	1	△1	0	0	2	2	2
UBE三菱セメント	50%	36	36	72	43	25	68	140	29	30	60	32	3	36	96
その他		2	△0	1	1	1	2	4	2	2	5	3	6	9	14
合計		45	31	76	63	36	99	175	42	49	91	71	34	106	197

\*2025年4月30日付にて権益売却済み

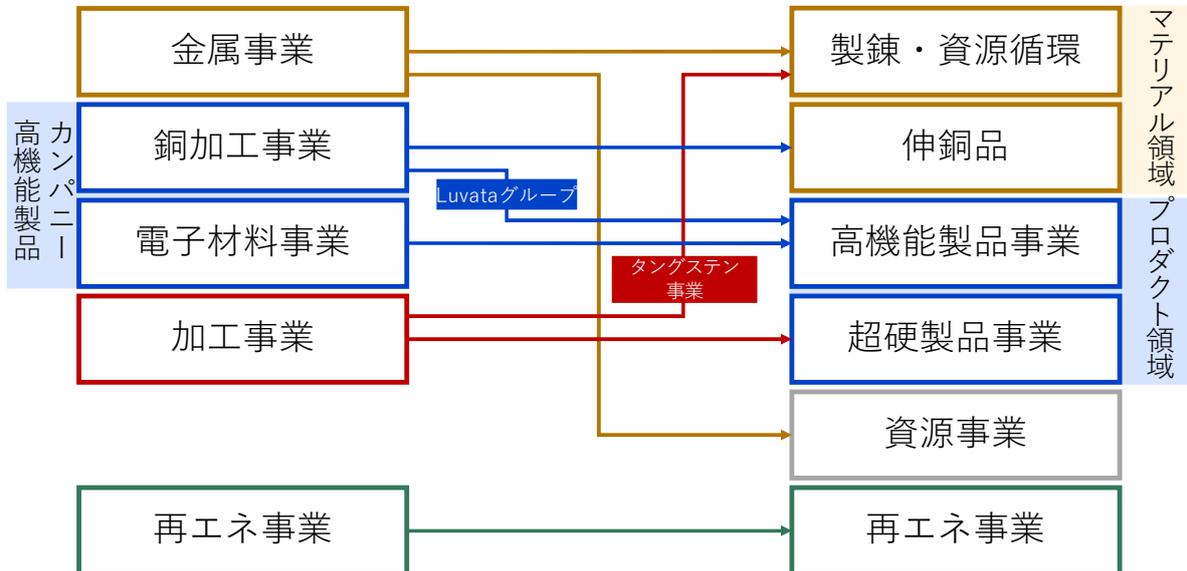
# 原材料の在庫評価影響

(単位：億円)

項目	25年3月期							26年3月期				
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q	
金属	営業利益	88	136	224	△1	8	7	231	△68	79	11	39
	在庫評価影響	63	△37	27	△30	7	△23	4	△44	△10	△55	11
	在庫評価影響を除く営業利益	25	173	197	29	1	30	227	△24	89	66	28
	経常利益	121	58	180	237	△6	231	411	△54	107	53	293
	在庫評価影響	66	△59	8	△24	5	△19	△11	△50	△9	△58	16
	在庫評価影響を除く経常利益	55	117	172	261	△11	250	422	△4	116	111	277
銅加工	営業利益	17	△32	△14	19	25	45	30	△2	22	20	67
	在庫評価影響	2	△44	△42	10	14	24	△18	△6	8	2	60
	在庫評価影響を除く営業利益	15	12	28	9	11	20	48	4	14	18	7
	経常利益	8	△42	△34	10	13	23	△10	△9	11	2	58
	在庫評価影響	2	△44	△42	10	13	24	△18	△6	8	2	60
	在庫評価影響を除く経常利益	6	2	8	△0	△1	△1	8	△3	3	△0	△2
全社合計	営業利益	128	147	275	47	48	95	371	△26	135	109	164
	在庫評価影響	65	△81	△15	△20	21	1	△14	△51	△2	△53	71
	在庫評価影響を除く営業利益	63	228	290	67	27	95	385	25	137	162	93
	経常利益	186	62	249	319	33	353	602	△1	168	167	444
	在庫評価影響	68	△103	△35	△14	19	5	△29	△56	△0	△56	76
	在庫評価影響を除く経常利益	118	165	284	333	14	348	631	55	168	223	368

## 2026年4月1日付け事業区分変更について

- 金属事業カンパニーは、製錬・資源循環（マテリアル領域）と資源事業に分割する。
- 高機能製品カンパニーの銅加工事業はLuvataグループを除いて、伸銅品（マテリアル領域）に区分する。電子材料事業は、Luvataグループを加えて、高機能製品事業（プロダクト領域）に区分する。
- 加工事業カンパニーは、上流工程の日本新金属社及びH.C.Starck社は製錬・資源循環（マテリアル領域）に区分する。下流工程の超硬製品事業（プロダクト領域）に区分する。



## お問合せ先

三菱マテリアル株式会社  
IR室

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

[ml-mmccir@mmc.co.jp](mailto:ml-mmccir@mmc.co.jp)

<https://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

<お知らせ>

最新の適時開示など、当社IRに関する情報のメール配信サービスをご希望の方は、  
以下のURLからご登録ください

<https://ir.mmc.co.jp/ja/ir/irmail.html>

<免責事項>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。  
実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。  
本資料に掲載されている内容・写真・図表などの無断転載を禁止します。